

## 平成30年度 施策評価表

1 施策No.	2-3-1		
2 地域づくりの方向	多様性を尊重し合えるまち		
3 政策	男女共同参画社会の実現		
4 施策	あらゆる分野における男女共同参画の推進【重点】		
5 評価担当部	総務部		
6 施策関連課	男女平等推進センター	企画課	
7 評価者	総務部長 天貝 勝己		

8 施策の目標	区民一人ひとりが、家庭、学校、職場、地域社会などあらゆる場においてその個性と能力を十分に発揮できる、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを計画的に実施します。						
9 施策の現状と課題	平成27年度に実施した「男女共同参画社会に関する住民意識調査において、「家事は女性の仕事」という考え方について、女性は「そうは思わない」の割合が最も高いのに対し、男性は「どちらかといえばそう思う」の割合が依然として最も高い状況にあり、性別役割分担意識や社会的慣行が根強く残っている。 そのため、男女共同参画があらゆる立場の人々にとって必要なものであるという意識を浸透させていくことが必要となる。 また、あらゆる施策に男女共同参画の視点を持ち、様々な事業を効果的に展開していくためには、指導的地位にある女性の割合を増やすことが重要となってくる。						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	平成27年度に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が施行され、企業における女性の活躍が図れるようになってきた。それに伴い、従前からの性別役割分担意識に対する考え方を見直す流れが出てきている。						
11 今年度の施策の取組方針	「自ら選択できるようになる」ための正しい知識や意識に関する取組を進める。						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	事業費合計(千円)	36,565	46,014	0	0	0	
	うち一般財源分(千円)	36,565	46,014	0	0	0	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	「今の世の中は男女平等になっている・どちらかといえば男女平等になっている」と思う区民の割合	目標値	33.8	38	40	42	42
		実績値	33.8	33.8			
		達成率	100.0%	88.9%	—	—	—
		達成状況	A:達成	B:相当程度達成			
	指標重要度の割合(%)	45	指標設定理由 様々な取り組みの結果、区民にとって男女共同参画社会が実現しているかを示す指標であるため				
	指標(2)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	区の附属機関・審議会等の女性の参画率	目標値	28	30	32	35	35
		実績値	25.8	28.6			
		達成率	92.1%	95.3%	—	—	—
達成状況		B:相当程度達成	B:相当程度達成				
指標重要度の割合(%)	10	指標設定理由 男女共同参画の推進には、政策・方針決定の場への女性の参画を増やしていくことが必要と考えられる。また、女性の参画状況は男女共同参画の進捗を見るに有効なものである。					
指標(3)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」と思う区民の割合	目標値	13	14.9	17	19.5	22.4	
	実績値	13	14.9				
	達成率	100.0%	100.0%	—	—	—	
	達成状況	A:達成	A:達成				
指標重要度の割合(%)	45	指標設定理由 施策の目標達成状況そのものを問うものである。					
14 施策達成状況	平成29年度達成状況	94.6%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	附属機関における女性の参画率に関しては、昨年度ヒアリング～計画策定と積極的に取り組みを進めた。その過程で、審議会等の考え方の整理を行った影響を受け、比率がアップしている。女性活躍推進法により、女性における職業選択や職業生活における活躍の選択が広がったことで、個性と能力を発揮できると思う区民の割合がアップしているのではないかと考える。 【注】今の世の中は男女平等になっている・どちらかといえば男女平等になっていると思う区民の割合は、平成29年度は調査年ではないため、昨年度実績値を横引き。行政経営課確認済。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
指標「今の世の中は男女平等になっている・どちらかといえば男女平等になっている」と思う区民の割合」と指標「性別に関わらず、あらゆる場において個性と能力が発揮できる」と思う区民の割合」の二つの指標は、男女共同参画社会の実現の度合いそのものを示すものであるため、重要な指標と位置付けた。							

## 平成30年度 施策評価表

15 施策を構成する 事務事業評価 を踏まえた分析	従来から男女平等推進センターが行ってきた啓発事業に加え、FFパートナーシップ協定やとしまぐらし会議、トイレアートプロジェクトなどにより、一人ひとりがあらゆる場面で個性と能力を発揮することができる社会を感じることができるようになってきていることが、施策達成につながっている。
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	「わたしらしく、暮らせるまち。」をメディアを活用して広く発信し、従前の対象とは異なる層に対してアプローチしており、貢献度を高く設定。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	今後さらに、企業、大学、区民との連携により、「わたしらしく、暮らせるまち。」を実現するための事業展開を行うとともに、広く啓発事業を実施していく。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	区が掲げる「女性にやさしいまちづくり」を推進していくうえで、核となる施策である。女性やファミリー層の定住化を進めるためにこれまでの取り組みをさらに強化していく必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
0208-01	男女共同参画啓発事業関係経費		事業費合計(千円)	5,739	10,241			
			うち一般財源分(千円)	5,739	10,241			
			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★			
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善見直し	A:現状維持			
0101-02	女性にやさしいまちづくり推進事業		事業費合計(千円)	30,826	35,773			
			うち一般財源分(千円)	30,826	35,773			
			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★			
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持			